

| | | | | | |
|------|--------|-----------|-------------|--------|------|
| 講義名 | 地域環境政策 | | | 授業形態 | |
| 担当教員 | 内山 勝久 | 開講期・曜日・時間 | 後期 木曜日 2 時限 | | |
| | | 単位数 | 2 | 履修開始年次 | 2 年生 |

主題と概要

この授業は、地域の環境問題および地球規模の環境問題について、その概要や解決のための政策について学びます。国内・海外で実践されているいくつかの環境政策を概観し、政策の背景にある考え方を理解することを目的とします。
 環境問題は地域的な問題から地球規模の問題までさまざまです。環境問題に関わる人たちがしばしば口にする「Think Globally, Act Locally」という言葉に象徴されるように、国際的な視野を持ちながら地域の問題を考えた取り組みを進めることが求められるようになってきており、海外の事例に学ぶことが有益である場合も少なくありません。
 授業では統計などの諸資料を活用しながら環境問題の現状を客観的に理解するとともに、国内外の環境政策の潮流などについて解説・検討します。あわせて、多くの海外事例を紹介し、地域の環境問題への適用可能性を探っていきたいと思います。社会科学全般の視点から各種政策を考察しますが、とくに経済学の知見を多用し、近年注目されている環境政策の経済的手法の考え方の理解に重点を置きます。

到達目標

各受講生が、
 (1) さまざまな環境問題を理解するための基本概念を理解し、現代社会の重要課題である環境問題やサステナビリティについて広い視野から主体的に考察できるようになること、
 (2) ローカルな環境問題の特徴を理解するとともに、グローバルな環境問題についても地域への影響を理解できるようになること、
 (3) 環境政策の手段として経済的手法の機能と役割を理解し、地域の環境問題の改善策を提案できるようになること、
 を目指します。

提出課題

・中間課題として、期中にレポートを提出してもらう予定です。また、期末には期末レポート課題を提出してもらうか、あるいは定期試験期間中に教室での試験を行います。いずれも詳細については授業内で説明します。
 ・ほぼ毎回の授業後にリアクションペーパーを提出してもらうことを予定しています。
 ・中間課題では課題について調べて情報を整理すること、期末レポート課題やリアクションペーパーでは、授業内容の理解度を確認したり、授業等で獲得した知識を応用したり、知識を組み合わせて新しい情報を生み出したりする(＝考える)ことを求める予定です。

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバックの方法

・提出された課題やリアクションペーパーについては、授業内でコメントしたり、授業の内容に反映する予定です。

評価の基準

・中間レポート課題40%、期末レポート課題あるいは期末試験60%の比率で評価します。
 ・授業内容に関する確かな質問や優れたレポート、リアクションペーパーの取り組み状況に対しては、満点を超えて加点評価します。

履修にあたっての注意・助言他

・環境問題に関心があるけれども、新聞記事やテレビニュースを理解するための基礎知識に乏しい学生向けの授業です。
 ・関連する科目に「都市環境論」があります(持ち上げる事例などに一部重複する部分があります)。
 ・スマホで授業に無関係なサイトの閲覧に關することは他の学生の学籍意欲を低下させるので、厳に慎んでください(集中力を維持してください)。
 ・質問があればスマホを検索するよりも教員に尋ねる方が効果的です(質問も高まります)。質問等で発言が必要な場合は委員のようで行ってください。
 ・必要な情報や知識がないと効果的に考えることもできませんので、授業では基礎知識の解説が主となります。然る情報量は多くならないかもしれませんが、自分の意見を形成し、それを支えるための多くの情報や知識を得て理解を深め、考えられる土台や枠組みを身につけたい学生向けの授業になります。情報や知識を暗記する必要はありませんが、新しいことを吸収して視野を広げることに関心のない学生にとっては退屈な授業となるでしょう。

教科書

| | | | | | |
|-----------------|--|--|--|--|--|
| ・特定の教科書は使用しません。 | | | | | |
|-----------------|--|--|--|--|--|

参考図書

| | | | | |
|-------------------------------|-----------------|------|-------|---------------|
| ・環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書(令和4年版)。 | 環境省 | 日経印刷 | 2,728 | 9784865793239 |
| ・新・地球環境政策。 | 龍山唐子 | 昭和堂 | 2,750 | 9784812210420 |
| ・グラフィック環境経済学。 | 浅子和美・落合勝昭・落合由紀子 | 新世社 | 3,190 | 9784883842216 |

その他

・担当教員が作成した資料を使用して授業を進めます。資料(PDFファイル)は授業支援システム経由で毎回配布します。
 ・参考図書に記載した「環境白書」は、環境省のウェブサイトから無料ダウンロード可能です(https://www.env.go.jp/policy/hakuso/)。授業では「令和5年版」を主に参照する予定ですので、最新版を入手するようにしてください(過去の白書を参照することもありますので、その都度ウェブサイトで確認してください)。
 ・その他の参考図書は必要に応じて適宜授業中に紹介します。

授業計画

- 1回 イントロダクション： 授業のねらいや環境問題の背景について
- 2回 環境をめぐる国内外の動き： 環境問題と環境政策の歴史、国際協働について
- 3回 環境政策の考え方： 環境問題と経済活動の関係、環境政策の手段について
- 4回 環境と持続可能な発展： 持続可能な発展の考え方、発展途上国の開発・発展と環境について
- 5回 環境と経済成長： 環境と貿易、環境クズネットワークについて
- 6回 エネルギー問題と環境政策(1)： エネルギー消費の現状と政策について
- 7回 エネルギー問題と環境政策(2)： 気候変動対策と経済的手法について
- 8回 廃棄物管理政策： 廃棄物の現状と廃棄物問題の経済学的特徴について
- 9回 循環型社会形成への取り組み： 市場を活用した資源有効利用について
- 10回 企業行動と環境政策： 環境政策と企業の環境経営行動について
- 11回 金融と環境政策： ESG投資など金融を活用した環境改善の潮流について
- 12回 都市・まちづくりと環境政策(1)： 低環境負荷のまちづくりに関する経済的手法について
- 13回 都市・まちづくりと環境政策(2)： 環境修復とまちづくり、グリーンインフラについて
- 14回 生物多様性と環境政策： 生物多様性保全のための経済的手法について
- 15回 環境と経済社会： 環境負荷の見える化、幸福度の考え方について

第1回～第5回は総論、第6回～第15回は各論になります。

授業形態(アクティブ・ラーニング)

| | |
|--------------------------------------|--|
| ア：PBL(課題解決型学習) | イ：反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態) |
| ウ：ディスカッション、ディベート | エ：グループワーク |
| オ：プレゼンテーション | カ：実習、フィールドワーク |
| キ：その他(A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合) | |

準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間

・授業前に、事前に配布された授業資料目録を確認し、自分なりのイメージを持っておいください(その上で授業に臨むこと)：約1時間/回。
 ・授業終了後は、記憶が鮮明なうちに復習してください(復習してわからなかった点は質問してください)。復習では与えられた情報を要約したり分類整理したりして理解し、咀嚼して自分の血肉とすることが求められます(情報の要約や分類整理は勉強の基本です)：約1.5時間/回。さらに、毎回の授業のなかで自分が関心を持ったトピックについて新聞・雑誌・情報できるウェブサイトなどで詳しく調べて、自分の問題意識を醸成してください：約1.5時間/回。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

この科目の「到達目標」を達成することで、人間、社会、自然に関する学際的問題である環境問題や、サステナビリティなどの現代社会の重要問題を、身近な課題を通じて理解できるようになり、さらに、地域社会で生じるさまざまな環境問題に関して、経済学を基礎とした改善策を提案できるようになります。
 これは、経済学部経済学系の学生が卒業時に獲得しておくべき資質・能力である、人間、社会、自然に関するこれまでの学際的成果の基礎を身につけて、現代社会の諸問題を幅広い観点から考察して課題を提案したり、経済学を基盤にして、複雑化する地域社会で生じる問題を読み解き、解決策を提案したりすることができる能力が備わることにつながります。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

・リアクションペーパーの提出などにクlicker(レスポンス)を利用する予定です。

実務経験の有無及び活用

備考